

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 9 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	「重度化や看取りにおける対応」に関しての指針の作成・事業所の体制作り、また本人様・家族様への説明及び同意に至っていない。	「重度化や看取りにおける対応」の事業所としての姿勢を定め、本人様・家族様共に、同じ認識で共有出来ている。	「重度化における対応の指針」の作成を行い、本人様・家族様の同意を交わす。また、事業内で職員への教育や心構えの準備、しくみ作りを行い、事業所として体制を整える。	12ヶ月
2	20	利用者様の家族様や職員以外との交流が少なくなっており、馴染みの意識が希薄になってきている。	新たな馴染みの方などが作れるような場所や機会へ参加出来るような支援を行う事が出来る。	地域での趣味活動の教室への参加や、併設施設住人との交流の機会を設けていく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の参加者が固定化になっている。幅広い地域住民の参加を呼び掛け、地域と連携を深めていきたい。	幅広い方の参加を頂け、充実した内容の会議へとつなげる事が出来ている。	町会・老人会・婦人会など、幅広い住民への呼びかけを行い参加頂けるよう取り組んでいく。また、GHでの見学会や、介護・認知障害に関する研修会の開催等で地域との連携を深めれるよう検討していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。